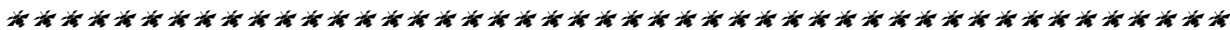




とつか

2022年11月会報 第337号

- 2022 国際会長(IP) Samuel Chacko (Indea)
 主 題 “Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT”
 「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」
 スローガン“BEYOND SELF and BE THE CHANGE” 「自己を超えて、変化を起こそう」
 アジア太平洋地域会長(AP) Chen Ming Chen (Taiwan)
 ~ 主 題 “Elegantly Change with New Era” 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
 スローガン“Doing It Right Now” 「今すぐ実行を」
 東日本区理事(RD) 佐藤重良 (甲府21)
 2023 主 題 “Let's act now for the future” 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
 スローガン“Do something for someone and have an enjoyable club life for yourself!”
 「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」
 湘南・沖縄部部長(DG) 小松仲史 (厚木)
 主 題 主 題「楽しく・元気よく・前向きに」・副 題:入りたくなるワイズにしよう
 クラブ会長 吉原 訓 会長主題「原点回帰」
 副会長 若木一美・書記 加藤利榮・会計・岡 進・メネット 吉原和子・担当主事 瀬戸俊孝



《会員ひと言》

☆ 150周年に因んで ☆

◎今月の聖句◎



若木 一美

本年は鉄道開業150周年、私が1970年から所属している「鉄道友の会」は、来年、創立70周年を迎えます。…ワイズとは全く関係ありませんが、この会は法人格を持たない全国的な組織(会員数約3000名・東西ワイズは約2100名)で、JR東日本を始めとする鉄道会社・車両製造会社ほかが賛助会員となっています。主要な事業は前年度営業運転用に製造された鉄道車両の中から、会員投票で選ばれた優秀車両に贈られるブルーリボン賞・ローレル賞があり、新聞・テレビ等のニュースでも採り上げられています。

さて、ここで皆様に質問?です。レールの幅(軌間)は、欧米諸国で一般的な1435mm(国際標準軌)でなく1067mm(狭軌)で日本の鉄道は始まりました。何故でしょう?(ポーツと生きていますか?) 答えは「諸説あって分からない。」です。ペリーが浦賀に來航したのが1853年、それから19年後の1872年(明治5年)10月14日に新橋~横浜間に鉄道が開通しました。小文をお読みいただく頃は、さまざまなイベントや記念行事などがあらかた終了しておりますが、あの時代に思いをめぐらすのも満更ではないかと思っておりますが…。

イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。…」

~ヨハネによる福音書14章6節~

新型コロナの蔓延を始め様々な困難な中であって、わたしたちは主のように明確な答えを出すことのできる人は、恐らく一人もいないと思います。でも、主は、明らかで確かな答えを用意されました。真の神だけが解決策を与え道を示すことができる…と教えておられます。

強調月間
100周年祝賀 ・ BF

本年はワイズ国際協会創立100周年にあたり、国際協会、西日本区とも呼応し、東日本区の会員数を**1,246名の達成**(現在770名)を目指すことに。もう一つBF、以前は使用済み切手を集めて、…の活動でしたが、市場価格の低迷等から、現在は‘現金’が主流となりました。その名も、今までのBrotherhood FundからBuilding Fellowshipに。

会員数		10月の会合		出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOF・A S F	B A P Y	ロ	バ
メ	ン	メ	ン		他	(円)	(g)			(円)	(円)	(円)	(円)
メ	ン	11	7	92%									
メ	ネット	8	1										
			ゲストら	0									
計	19	合計	8										
					前月迄		0		0		0		0
					当 月		0		0		0		0
					累 計		0		0		0		0

★強い義務感を持つとう 義務はすべての権利に伴う★



日時：10月18日(火)18時～20時
 場所：湘南とつかYMCA・1階ホール
 出席者：浦出・岡・鈴木・瀬戸・土方・
 若木・吉原・吉原メネット 計)8名
 10月定例会を対面方式で開催しました。
 司会役の加藤さんが脚の不調により欠席のため
 瀬戸さんが司会を代行しました。

開会の祈り等のセレモニーの後、本題に入りました。
 11月3日、例年「い〜とつか祭」を、毎回、にぎにぎしく
 開催していますが、本年はコロナ対策を考慮した開催となり、
 ワイズ・バザーの代わりにパヤオクラフト販売とレザン製作の
 グッズの販売を予定していることから、YMCA スポーツ専門学校
 職員で国際・地域担当の品川亜耶さんから「国際・地域協力募金、
 パヤオクラフト」についての解説がありました。
 国際・地域協力募金の使途先は、タイ・ミャンマー・カンボ
 ジアの国々の海外支援と緊急災害支援に使われていること、ま
 たパヤオクラフトはタイのパヤオ・センターで生活する少年・
 少女たちの技術的な職業支援を目指していること等が紹介

されました。レザンも利用者の自立支援のための活動を行
 っており、作成したグッズを、当日販売するとのこと
 でした。
 ほかに、チャリティーランの結果報告や部大会の案
 内などがあり、11月は15日(火)に例会を開催するこ
 とを確認して、定刻閉会しました。

(パヤオセンターについて：30年ほど前の1994年、
 横浜 YMCA がタイ・バンコク YMCA と協働で始めた「北部
 山岳民族の子どもたちの保護プロジェクト」の拠点)



☆第26回湘南・沖縄部部大会から☆ 加藤利榮

日時：10月22日(土)15時～17時
 場所：湘南とつかYMCA・1階ホール
 出席者：(講師) 富田 俊彦先生
 (来賓) 佐藤 重良 理事様
 清藤 城宏 書記様
 佐竹 博 総主事様



(第1部) 講演「テロ事件に学ぶ命の尊さ」
 通算26年間、警視庁に勤務、50年前に起きた「あさま山荘
 事件」の際には、警視庁第2機動隊巡查部長として人質救出に
 参加、2人の機動隊員犠牲者を目の当たりにした状況を克明に
 話された。「恨みに報ゆるに徳をもってなす。」「防犯と防災は
 車の両輪」のひとつは、こうしたご経験の上に立った、正しく
 印象に残った名言でした。お話の前後には、身振り・手つきも
 鮮やかに手品まで披露され、会場から割れるような拍手が起
 きておりました。現在では、危機管理に関するお仕事をされ
 ておられるとか…。頂いた名刺を拝見しながら、短い時間な
 がらご挨拶を交わし、その際、ご講演には出なかったオハナシ
 (貴重なウラ話)まで、二三、伺うこともできました。

なお、同山荘は、現在は中国が買収して～当時は河合楽器
 の所有～いるとのことでした。
 (第2部) 議事

開会礼拝の後、来賓として
 ご参加の佐藤理事・佐竹総
 主事から日ごろの活動への感謝
 と更なる期待する旨のご挨拶
 が、また区書記から甲府大会
 アピールの後、閉会しました。



☆第25回チャリティーランから☆ 浦出昭吉

10月15日(土)、MM21
 地区臨港パーク内の特設会
 場において、リアル大会がオ
 ンラインによる開催とは
 別に行われ、久しぶりに現
 地に出席してきました。



会場には、9時半開始と
 いうことで、各クラブから全部で10数名が横浜 YMCA
 のビブス姿で集まっています。
 心配されたお天気もママアの様子にホッと…。
 ‘幼児・小学生・スペシャル’に分かれた特設コース
 を中心に、今回は瀬戸主事が大会実行責任者というこ
 ともあって、応援のヒト声にも思わず力が入ります。
 11時半、予定したチームすべて歓声のうちに無事
 終わり、閉会式に臨みました。
 今回は、定番‘しゅうまい弁当’の配布はなく、チ
 ーム表彰のあと、三々五々自由解散となりました。



☆雀に学ぼう！危機管理☆ (最終回)

湘南・沖縄部部长 小松仲史 (厚木)



子どもたちは大人によって作られた社会で守られていなくてははいけません。ただ、近頃の子供たちは、『守られていて当然』という意識が強すぎると思います。

た 事件・事故の多くは登・下校時に起きています。後ろから走ってきた車がハンドル操作を誤って登・下校の列に突っ込む事故が毎年どこかで起きています。ブレーキとアクセルの踏み間違えによる事故も多くあります。

これらの事故は、もちろん100%運転者の過失によるもので、運転者をどれだけ責めても失った命は二度と戻りません。

さて、それが雀だったらひかれたでしようか…？

おそらく、気配を感じていち早く逃げているでしょう。一方、子どもたちは横一列にはしゃぎながら歩いていたりして、クラクションくらいでは、まずどうともしない例が多々あります。

これだけ有れば通れるだろう！ うるせー！ さっさと行け！ と、…そんな声が聞こえてきそうです。

でも、そのクラクションがブレーキ故障やハンドル操作の誤りで突っ込んでくる車だったらどうでしょう？ ‘振り返り’という僅かな動作～確認～さえしていれば、命を失う…ことは防げたのでは…。そして、できるだけ対面交通を心掛けていけば…事故は未然に防げたのでは…。

それに比べ、雀は人間の交通ルールを知りません。雀自身が自分の身を守る術を心得ているからこそ、事故に遭う確率を大きく減らしているのです。もちろん、人間にも本能的には、わが身を守るすべを身に着けているはずですが、昨今は他人に頼りすぎ、あるいは‘あて’にし過ぎているようです。

さて、雀の場合、その多くは‘群(むれ)’で行動します。寿命は30～40年と、結構長いようです。フト近くに寄ってきても、一定の距離からさらに近づくとも飛び立ってしまいます。毎日、餌をやっている人間にも同様です。危機管理を学んで行動しているからです。まず親が子に教え込み、危険を感じた場合サッと逃げますが、子どもは親の後を必死で追い、どのように、そしてどんな時に逃げれば…、またどこまでが安全なのかを学びます。そして子雀自身、危ない目に遭った時の事を忘れず二度と同じ危険に遭わないよう気を付けています。(以上)

(小松様 全4回にわたったご投稿、誠に有り難うございました。) (B/ \$)

沖縄だより



☆ 沖縄YMCAを支えて ☆

元沖縄那覇クラブ会長 玉城 哲人

元那覇ワイズメンズクラブの玉城です。退会して1年ほど経過しましたが、皆様にはその節は大変ご迷惑をおかけしました。ご容赦頂きたいと思います。

その後の状況をお伝えしたいと思います。

元メンバーの7人は、現在も毎月、沖縄YMCAのラウンジに集まり、沖縄YMCAの事業の一つである「学童」の運営や季節行事の計画等について話し合っております。「学童」の方は、那覇市から支援助成金を頂いており、事業の大きな要でもあります。現在、「学童」を利用する子どもたちは45名ほどで、指導員のスタッフは、アルバイト・パートを合わせて10名ほどが関わっています。私たちメンバー数名は、事業全体の運営と子どもたちの送迎や事務などのサポートを行っています。一方で、老朽化した建物の修繕費の工面や指導員スタッフの補充、指導員資格の取得、利用者の募集等々、事業を維持していくことに難しさを感じています。しかし、「学童」の設立当初に比べ、人的・物的な環境においては目覚ましい進展がみられるのも事実です。特に、若いスタッフの優しく・瑞々しい感性で子どもたちに寄り添う姿や、子どもの成長を願う環境づくりなど、少しずつかもしれませんが、発展する沖縄YMCAの未来を感じ取ることができます。私も二ヶ月に一度の割合で仕事を教えています。これまでにタッパーを利用した「三線」作りなど様々なものを制作してきました。やんちゃな子どももいますが、この時だけは黙々と飽きずに制作に励んでくれます。毎回、子どもが楽しめ、記憶に残るものを…と心掛けておりますが、幸いにも子どもたちや保護者の皆さんにも喜んでもらっているようです。

湘南・沖縄部の皆様には、これまで多くのご支援・ご友情をいただきましたことに心より感謝申し上げます。この心を忘れずに、これからも沖縄YMCAを支え続けてまいります。



《アンジュ通信》

☆ パンの販賣に思う ☆

横浜YMCA ワークサポートセンター 相馬 良文

「3年ぶりの開催」が枕詞のように、さまざまなイベントが開催されるようになってきました。10月23日には、舞岡地区センター祭りが開催され、パン販売を行いました。

会場での飲食が禁止されていたのですが、予想をはるかに上回る売れ行きで、開始40分で完売してしまいました。

久しぶりの販売を、6名の利用者が楽しみにしておりましたが、午前中の3名のみ参加となりました。 ➤

様々な価値観を受け止めつつ、今後ともパンを始めとするいくつかの製品の販売に、ムリをすることなく取り組んでいきたいと考えております。



～ユース世代の活躍サポートに感謝～ 瀬戸俊孝



先日、9月30日(金)～10月2日(日)に、東京YMCA山中湖センターで行われた「東日本YMCAユースリーダー・ボランティアフォーラム」に参加した湘南とつかYMCA所属のユースリーダーが2名(キャンプリーダー田邊さん、体操リーダー田村さん)参加しました。3年ぶりの対面の開催でとても充実した機会になったそうです。東日本地区のYMCAの同じユースリーダーと出会い、新しい気付き、これからの活動につながる多くの学びがあったようです。後日、報告の機会を設けたいと思います。

今回の参加にあたっては、東日本区のワイズメンズクラブの皆さんのお支えがあったことも理解しています。リーダーの活躍を今後も温かく見守り、サポートしていただけると幸いです。

そして、とつかのリーダー会の活動は、11月3日に行われる「YMCA・い〜とつか祭」の日に地域清掃を行います。是非、ワイズの皆さんもリーダーと共に活動をいたしましょう。



- ◎ 11月3日(木)・祝い〜とつか祭・9時〜湘南とつか
 - ◎ 11月12日(土)13時〜You&Iコンサート・つづき
 - ◎ 11月15日(火)18時〜例会・湘南とつかホール
- 近くなりましたら、瀬戸担当主事からご案内・確認をさせていただきます。

Happy Birthday
 若木 一美さん 28日
 浦出瑞枝メネット 29日

☆ トピックス ☆

加藤利榮

(その一) 'トシだからなあ…'

別段、コレっ…といったハナシでもありませんが…。最近、相手の方から'もうトシなんですよ…'と言われ、思わず、ワレに返ること、屢々です。そんなこんなで、久しぶり〜ほんまに久しぶり〜にクラブの10月期の例会を欠席してしまいました。

その日の朝、ベッドから降り立った時に、なぜか右脚の'つちふまず'のところがおかしかったのですが、格別、気にも留めなかったところ、風過ぎ頃から歩くにも激痛がして、ままならず…。そのままトコに…となってしまった次第…。それでいて、翌日はケロリ…でしたが…。

『だからトシなんだよ…。』

(その二) キョウイク・キョウヨウ…それと…

ひと頃もてはやされた「きょういく・きょうよう」のコトバのほか、最近では、「ちょきん」が仲間入りしていたことが、ブリテン仲間からご連絡いただきましたので、本欄に、受け売りさせていただきます。

「ちょきん」のコトバの意味は、「筋力を蓄え・維持すること」を言い表しているそうで、始めの二つと合わせ、最近ではよく使われているとのことでした…。

『なんだ、そんな話し、知らなかったんか…。』

(その三) YMCA 創立記念日について

YMCAの手帳を見ますと、10月11日は「YMCA 記念日・創立者誕生日」と印刷されております。

YMCAの創立者 Sir. George Williamsの誕生日、日本では、この日を覚え、記念の日にしています。ついでながら、横浜YMCAの創立記念日は、その1週後の10月18日です。

『そして今月27日には待降節を迎えます…。』

(その四) BF 代表の受入れ延期について

ペルーからのBF代表 Roxana ご夫妻の来日は事情により、明年3月以降に延期されました。

〈後記〉

今月も、もっぱらキョウイクとキョウヨウ、それにチョコキンの日々です。

B/E

【今月の歳時記】 “落葉 おちば・冬めく ふゆめく”

落葉：落葉樹は、晩秋から冬にかけて、ことごとく葉を落としてしまう。強い風にあおられて舞い飛ばす葉は美しい…が、冷たい雨に濡れて街路に散らばっている風情は痛々しい感じがする。庭に落ちた葉は、はき寄せて焚いてしまう。

落葉して遠くなりけり日の音	蕪 村
街路樹の夜も落葉をいそぐなり	素 十
雄鶏や落葉の下に何もなき	三 鬼

冬めく：自然の姿は、まだ晩秋らしさを保っているのに、そういった感覚とは別に、時雨や落葉や木枯らしなど、人の感覚を通して冬を感じる。風物がかいかにも冬らしくなってきた場合も「冬めく」というようだ。

口の袖あてゝゆく人冬めける	虚 子
蓮さわぐ風に星屑冬めきぬ	寒 子
冬めくやうき身さみしく頬かむり	柎 童